

少子化への対応を推進する国民会議参加団体の取組み状況

【目 次】

1	少子化への対応についての社会的な気運の醸成	1
2	子どもを産み育てやすい地域の環境整備	7
3	仕事と子育てが両立しやすい職場環境の整備	20
4	子育て支援サービスの拡充	24
5	学校や家庭における教育の推進	31
6	良質な住宅の普及	32
(別紙1)	全日本私立幼稚園連合会の地方組織等の取組み	33
(別紙2)	日本医師会の地方組織等の取組み	35
(別紙3)	日本看護協会の地方組織等の取組み	41

平成 1 3 年 6 月

少子化への対応を推進する国民会議参加団体の取組み状況

1 少子化への対応についての社会的な気運の醸成

少子化への対応が国民の理解を得ながら広がりをもって進んでいくように、さまざまな情報発信活動や意識啓発活動を行う。

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成12年度の取組み状況	平成13年度の取組み予定
<p>○ 少子化への対応の推進について考えるフォーラムを開催する。 (日本新聞協会、全日本私立幼稚園連合会)</p>	<p>【日本新聞協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本PTA全国協議会の「家庭の風景・三行詩キャンペーン」の後援。(読売新聞社) ○ 読売・中公女性フォーラム21 「少子・高齢社会を考えるー産めない理由、産めないわけ」、「父親不在の日本をしかる」などシンポジウムを東京、大阪、名古屋、福島、富山などで6回開催(読売新聞) ○ 少子化問題に関する全国世論調査(読売新聞社) <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【全日本私立幼稚園連合会】</p> <p>[地方組織等の取組み] (別紙1のとおり)</p>	<p>【日本新聞協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本PTA全国協議会の「家庭の風景・三行詩キャンペーン」の後援継続(読売新聞社) ○ 少子社会研究会を設置し、年間テーマとして研究し、いずれ提言報道(読売新聞社) ○ 読売・中公女性フォーラム21 「子育てはいまーその理想と現実」、「シングルライフの未来像ーあなたはひとりで生きられますか」などシンポジウムを全国で計5回開催予定(読売新聞社) <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【全日本私立幼稚園連合会】</p> <p>[地方組織等の取組み] (別紙1のとおり)</p>
<p>○ 例えば、国民の性意識の変化やその実態について、科学的な全国調査を行い、分析・紹介する番組を検討するなど、少子化との関連について議論のある問題をさまざまな角度から採り上げて放送する。 (日本放送協会)</p>	<p>【日本放送協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「シリーズ 揺れる男と女の関係～NHK「性についての実態調査」より～」の制作・放送(ETV2000)(教育テレビ 午後10:00～10:45)で4月17日より4夜連続 ※ 内容：国民の性意識の変化やその実態について、NHKが行った科学的な全国調査の結果を紹介 ○ 夏期特集「徹底トーク子育ては楽しいですか?」の制作・放送(教育テレビ8月5日午後6:30～9:30) 	<p>【日本放送協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成13年4月からは、新たに、世界各地の様々な「子育て」の現場を紹介しながら、日本の悩める親たちの問いかけに答え、世界第一線の専門家たちを交えて、親と子の在り方を考える大型シリーズ企画番組を月1回(衛星第1テレビ第1土曜日午後9時50分から11時)放送する予定である。 このほか、高齢化社会での介護の在り方や女性が自立していく中での家族の変化などを含め、少子社会に関連した様々な問題について分析や提起を、今後も放送を通じて積極的にわかりやすく行っていきたいと考えている。

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成12年度取組み状況	平成13年度取組み予定
	<p>※ 内容：子育てに奮闘する母親たちの本音を聞くなど、少子化に関連するテーマを番組として幅広く取り上げた。</p> <p>○ 我が国における少子化の進行が、社会にさまざまな影響や歪みをもたらしかねないことから、重要な国民的課題の一つとして、放送を通じて、高齢化社会での介護の在り方や女性が自立していく中での家族の変化など、少子社会に関連したさまざまな問題についての分析や提起を積極的にわかりやすく行っている。</p> <p>〔地方組織等の取組み〕</p> <p>○ 各地域放送局は、地域放送番組や地域発全国発信番組を通じ、少子化に伴う家庭や社会、地域への影響や子育て支援の地域活動などを幅広く取り上げてきており、今後も放送を通じ、少子化の進行が社会にさまざまな影響や歪みをもたらしかねない重要課題の一つだという視点から、地域の少子社会に関連したテーマを広く扱っている。</p>	<p>〔地方組織等の取組み〕</p> <p>○ 引き続き12年度取組みを継続する。</p>
(日本民間放送連盟)	<p>【日本民間放送連盟】</p> <p>○ 会員各社の判断に基づき、少子化への取組みについて放送。</p>	<p>【日本民間放送連盟】</p> <p>○ 会員各社の判断に基づき、少子化への取組みについて放送。</p>
<p>○ 男性の意識改革や家事・育児への積極的な参加、職場の雰囲気づくりなど、固定的な性別役割分業を社会全体として是正していくことについて、会報や各種のセミナー、会合を通じて企業への啓発を進める。</p> <p>また、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法など関連法規の周知を進める。</p> <p>(日本経営者団体連盟、日本商工会議所、関西経済連合会)</p>	<p>【日本経営者団体連盟】</p> <p>○ 日本経営者団体連盟・日本労働組合総連合会で、少子化問題についての共同アピール「子どもを産み育てやすい社会をめざして」を取りまとめ発表。(平成12年4月20日)</p> <p>同アピールについて、会員団体等への周知活動を展開。</p> <p>○ 仕事と家庭の両立、男女共同参画社会の実現、女性の雇用環境の整備などをテーマとす</p>	<p>【日本経営者団体連盟】</p> <p>○ 「国民的な広がりのある取組みの推進について」における当連盟にかかる事項について取組みを行う。(継続)</p> <p>○ 仕事と家庭の両立支援、男女共同参画社会の実現、ポジティブ・アクションなどをテーマとする各種セミナーや会合を通じて、企業の経営者、管理者ならびに従業員等の意識啓発を行う。(継続)</p>

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成12年度の取組み状況	平成13年度の取組み予定
	<p>る各種セミナー、会合を通じて、企業の経営者、管理者並びに労働者等の意識啓発を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 21世紀における人材活用のキーワードを「ダイバーシティー（多様性）を認める企業組織」と定め、企業の将来を担う若手人事・労務担当者が、仕事と家庭生活の両立などをはじめとするダイバーシティー・ワーク・ルールについて考える「ダイバーシティー・ワーク・ルール研究会」を発足させ、検討結果を参加者の今後の業務に生かすこととしている。 ○ 「男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の基本的な方向に関する論点整理」（平成12年5月15日男女共同参画審議会基本問題部会公表）に対し、意見提出を行うとともに、会員団体に論点整理を周知。 本件について、今後も会員団体への周知を図りながら、意見の反映に努めていく。 ○ 平成12年7月に、労働省女性少年問題審議会女性部会で、仕事と家庭の両立支援対策について検討が始まったことに対応し、会員団体に周知を図るとともに、意見の反映に努めていく。 ○ 平成13年1月12日に発表した「労働問題研究委員会報告2001年版」において、少子化問題について取り上げ、男女共同参画社会の実現、仕事と家庭の両立支援、保育サービスの拡充の必要性などについて、会員団体、企業等に対して周知を図るとともに、企業の経営者、管理者並びに従業員等に意識啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 政府の「男女共同参画基本計画」について、会員団体および企業への周知・意識啓発を図る。（継続） ○ 育児・介護休業改正法案成立後の法施行に際し、法令の解説書等の作成、機関誌での紹介等を通して、会員団体および企業に周知・意識啓発を図る。 ○ ダイバーシティー・ワーク・ルール研究会において、両立支援策、ポジティブ・アクション等を含めた新しい働き方、多様な働き方についてのレポートを取りまとめることとしており、会員団体及び企業に対して周知・意識啓発を図る。

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成12年度取組み状況	平成13年度取組み予定
	<p>〔地方組織等の取組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 都道府県レベルで制定する男女共同参画推進条例の審議において、多くの経営者協会が事業主の立場から参画、意見提出を行い、条例制定後も、都道府県の男女共同参画審議会等に参画している。 ○ 兵庫県経営者協会・日本労働組合総連合会兵庫県連合会による労使共同研究報告「男女共生社会の実現」の取りまとめ(平成12年2月) ○ 兵庫県経営者協会・関西地区経営者協会による実態調査「改正男女雇用機会均等法への企業の対応」の実施 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【関西経済連合会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 機関誌「経済人」4月号に、「多様な人材の能力を生かすための当社の取組み—少子化対策における企業の役割—」を掲載 	<p>【関西経済連合会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 機関誌「経済人」2001年6月号に「社会保障制度改革への提言」を掲載する中で、少子化問題に言及

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成12年度取組状況	平成13年度取組予定
<p>○ 地域や家庭における固定的な性別役割分業意識の是正や、女性の地域社会への参画の促進について、農村での取組みなど、啓発を進める。 (全国地域婦人団体連絡協議会、全国農業協同組合中央会)</p>	<p>【全国地域婦人団体連絡協議会】</p> <p>○ 機関誌「全地婦連」において、国民会議の取組みを普及啓発し、各地における子育て支援事業の実践を掲載した。</p> <p>○ 12年度事業計画で年間運動として「子育て支援活動・地域の特色をいかした取組」を決定し、推進した。</p> <hr/> <p>【全国農業協同組合中央会】</p> <p>○ 男女共同参画社会基本法の普及啓発。 ◇ 農家の女性を会員とするJA女性組織(150万人)での広報啓蒙活動 ◇ JA運営への女性参画として、数値目標を掲げた取組みを行う。(3ヶ年計画)</p> <p>○ 全国農業協同組合中央会全国大会の大会議案(JAグループの中長期方針)において、少子化対策として男女共同参画社会基本法の普及啓発への取組みを決定</p>	<p>【全国地域婦人団体連絡協議会】</p> <p>○ 当会発行の機関紙「全地婦連」で国民会議の取組みを広報し内容の周知徹底を図るとともに、各地における子育て支援事業の活動を掲載し、普及啓発に努める。</p> <p>○ 13年度事業計画の年間運動として前年度と同様「子育て支援活動・地域の特色をいかした取組」を継続、推進する。</p> <hr/> <p>【全国農業協同組合中央会】</p> <p>○ 引き続き12年度取組みを継続する。</p>
<p>○ 労働組合運営における男女平等に向けた積極的措置として、役員への女性の登用その他あらゆるレベルの労働組合活動への女性の参画を推進する。 (日本労働組合総連合会)</p>	<p>【日本労働組合総連合会】</p> <p>○ 日本経営者団体連盟・日本労働組合総連合会で、少子化問題についての共同アピール「子どもを産み育てやすい社会をめざして」を取りまとめ発表(平成12年4月20日) 同アピールについて、会員労働組合等への周知活動を展開</p>	
<p>○ 子育ての楽しさについてPRする全国的なキャンペーンとして、「家庭の風景、三行詩キャンペーン」を実施する。 (日本PTA全国協議会)</p>	<p>【日本PTA全国協議会】</p> <p>○ 「やっぱり家族っていいな たのしい子育て全国キャンペーン」の実施(家庭の風景/三行詩と写真の公募作品を活用してのキャンペーン平成12年7月～平成13年3月)</p>	<p>【日本PTA全国協議会】</p> <p>○ 12年度に三行詩・写真を全国より募集し大きな成果をあげた。子育ては楽しいということをPRしていくことは、国にとっても、私たち保護者にとっても重要な使命である。</p>

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成12年度取組み状況	平成13年度取組み予定
		<p>そのため、13年度は12年度に実施した“家庭の風景 / 三行詩・写真のコンクール”を行うほか、作品集の内容をより充実させ、子育ての楽しさを啓蒙していく。</p> <p>〔地方組織等の取組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「子育ては楽しい」ということで、平成12年度少子化対策全国キャンペーンの一端として、三行詩・写真を全国から公募した。それを踏まえて日本PTAの各ブロック研究大会、全国研究大会においてシンポジウムを開催し、子育ては楽しいことだというキャンペーンを全国で展開していく。 ◇ 全国研究大会：開催地 秋田市他 平成13年8月31日、9月1日 参加人数 1,000人予定 ◇ 北海道ブロック大会：開催地 苫小牧市 平成13年10月13日、14日 参加人数 300人予定 ◇ 関東ブロック大会：開催地 茨城県 平成13年10月19日、20日 参加人数 500人予定 ◇ 中国ブロック大会：開催地 広島市 平成13年10月26日、27日 参加人数 300人予定 ◇ 九州ブロック大会：開催地 北九州市 平成13年10月27日、28日 参加人数 500人予定